

奈良県立医科大学放射線腫瘍医学講座 学術研究のお知らせ

この文書は、臨床研究「限局型小細胞肺癌に対する同時化学放射線療法の照射野内再発、照射野外再発と予防的全脳照射の後方視的解析」の内容についてお知らせするものです。研究期間は2022年3月31日までです。限局型小細胞肺癌は、標準治療を行っても難治であり、治療成績の向上が課題です。奈良県立医科大学では、限局型小細胞癌の放射線治療を行った方を対象として、治療成績を明らかにする調査研究を行います。また、当研究は近畿中央胸部疾患センター 安宅信二氏との共同研究です。

研究の内容、方法について

2004年1月から2013年10月までに当科で放射線治療を行った限局型小細胞癌の患者さんが対象です。調査内容は、患者さんの検査結果、治療内容、治療効果と副作用です。検査、治療は当院の日常診療で行われているもので、新たな検査、治療などはありませんが、必要に応じてすでに診断に用いた画像、病理標本、および放射線治療計画に用いた画像データなどを匿名化して検証します。集められた画像、病理標本等のデータの識別には、患者さんの氏名、生年月日、カルテ番号などではなく、研究用に発行されたコード番号のみ使用します。氏名が外部に漏れることはないように注意して行われます。今回の研究は患者さんの子孫に受け継がれるような遺伝子情報に関する研究は含まれません。データは、結果公表後しばらくして（問い合わせなどがあるため）からデータから消去します。本研究の成果は研究会、学会、市民公開講座や学術論文として公表されますが、その中で個人名は公表されません。ただし、患者さんの希望があれば結果公表後にご本人にお伝えすることは可能です。なおこの研究に関して患者さんの新たな費用負担や採血検査などの身体的負担は一切ありません。この研究の内容および方法は、奈良県立医科大学の医の倫理委員会にて審査の結果、実施について承認を得ています。ご自分のデータを研究に使用して欲しくないとお考えの患者さんは、以下の連絡先までご連絡をお願い申し上げます。データの使用にあたっては、患者さんおよびご家族に診療上の不利益などが一切生じないように、以下のことを守ります。

- 医学研究以外に使用しない。
 - 患者さんおよびご家族の氏名は公表しない。個人情報を守秘する。
 - 研究結果は学会、研究会、市民公開教室、学術論文以外では発表しない。
 - いつでも同意撤回は可能であり、それによって患者さんの不利益は生じない。
- (研究結果の公表後は公表された研究結果からデータを外すことはできなくなります)

研究責任者 奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座 助教 森本将裕

住所 〒634-8522 奈良県橿原市四條町 840 電話 0744-22-3051 FAX0744-25-3434